

# 農繁期

## レポート

令和5年 7月号

# 栄ファーム

オーナー  
産地  
水田面積  
保証量  
形態品種

栄運輸工業株式会社  
鳥取県日野郡日南町  
18.4アール  
玄米828kg  
特別栽培コシヒカリ



## 生産者

三上 惇二さん

今年の梅雨はいつもよりも雨量が多かったのですが、大雨による被害もなく稲は順調に成長しています。中干しの時期になり雨が時々降りますが、田んぼは意外にも乾いています。そろそろ穂ができますので田んぼ周りの草刈りを進めてまいります。ここからがまた踏ん張りどころではあります。

### 7月の作業内容

#### 1. 草刈り

今年は梅雨にしっかり雨が降り、雑草の伸び方が早く、何度も草刈りをするようになりました。そして、草も刈りすぎてしまうとイネ科雑草がさらに繁殖してしまうので、10cmくらい残して刈ることが理想です。



#### 2. 無効分げつ抑制

稲株も繁殖しすぎると生育や収量に悪影響があります。お米の実る稲穂をしっかりと確保した後は、「無効分げつ（穂がならない分げつ）」を抑えるために間断かん水で8月の出穂（しゅすい）までの水管理を行います。



#### 3. カメムシ対策

カメムシがたくさん発生すると、米粒に斑点をもたらしたり、その結果食味が落ちたりします。農薬で防除することもあります。畔草をしっかりと刈る（耕種的防除法のひとつ）ことも立派な虫害対策となります。



#### 4. 電気柵の設置

獣害は年々深刻になってきています。猪が田んぼに入ると稲に獣臭が付いてしまうので、侵入を防ぐべく早めに電気柵を設置します。写真の柵は低いですが、鹿の出る地域での柵は2m近くにもなります。

